

# 令和2年度 ひいらぎこども園 事業報告書

## 1 成果と課題

新型コロナウイルス感染拡大防止のために、気の休まる時のない1年でした。

4月の第1回緊急事態宣言中は、約50%の方が家庭保育に協力してくださいました。そのため、妊娠中や子育て中、そして高齢の職員は在宅勤務とし、年間指導計画や月案の作成、おうち時間用工作キットや親子遊び・親子クッキングのレシピ作成・手作りおもちゃ・手作りマスクの作成に取り組みました。マスクが不足していた時期だったため、職員のみならず地域にも配布し、徳洲会病院からはお礼状を戴きました。(→16 社会貢献)

その後も感染は続き、保護者や兄弟がPCR検査を受ける事例が複数発生したため、毎年行っていた年長児の琵琶湖水遊びや全ての園外保育を中止しました。年長児の思い出を何とか作りたいと考え、新しく購入した園庭のネーミングや計画を年長児にしてもらうことにしました。「サッカーのできる場所がほしい」「鳥や虫が来る森を作りたい」「トンネルのある山がほしい」という意見が出て、一校会の「やってみ！チャレンジ」の補助金をもらって樹木を植えました。既存の園庭であるどろんこひろばとは段差があるため、スロープをつなぎ、配管工事を行って井戸水を引きました。このため、「わくわくひろば」と名付けられた新園庭は子どもたちのお気に入りの場所となり、夏には、思いっきりどろんこ遊びを楽しむことができました。



年長児が描いた設計図



全身を使ったどろんこ遊び

運動会は城陽市民体育館で行っているため、3歳以上児のみの年齢ごと入れ替え制で実施しました。保護者を1家庭1名に限定したため、アンケート結果は「徹底した感染防止対策で安心して参観できた」という意見と「2名にしてほしかった」という意見の2つに分かれました。ただ、年齢ごとに実施したことによって、待ち時間がなくなり、子どもたちの集中力が途切れることなく本領発揮の場面を見ることができました。子どもの最善の利益を考えた時、アフターコロナにおいても参考にすべき結果であったと考えています。

作品展は、どうしても密の状況を回避できないため、各部屋で展示をし、クラスごとの取組冊子と動画配信を実施することにしました。子どもの興味関心に合わせて作る→作ったもので遊ぶ→遊びながら「これもあった方がいい」と思ったものを作る→遊ぶ

→さらに作るといった保育が展開し、幼児組では2か月以上も子ども主体の造形あそびが続きました。子どものどんな願いや発想をきっかけとしてどのように遊びが展開していったか、それによってどのような力がついたのかをまとめて冊子を作る過程は、保育者自身の記録する力を向上させ、保育の振り返りと見直しにもつながりました。これらを園の自己評価につなげ、保育の改善・充実を図るとともに、一人一人の保育教諭の専門性や職員間の協働性をより高めていきたいと思えます。

コロナ禍ではありましたが、ソーシャルワーカーを中心に発達面で支援を必要とする子どもの保護者カンファレンスを年2回実施することができました。その際に保護者と共有した個別指導計画により、「家での具体的な支援方法がよくわかった」という保護者からの手紙を戴きました。カンファレンスには、両親・祖母までが参加して下さる家庭もあり、保護者との連携により、支援児童の大きな成長がみられました。(→15保護者アンケート・手紙)けれども、家庭環境として支援を必要とする子どもは増加の傾向にあり、宇治児童相談所・宇治市家庭相談と連携しながら見守りを続けていますが、近年は面前DVの増加が見られ、支援の難しさを感じています。

年度当初に、5歳児児童が鉄棒から飛び降りて腕をモンテジヤ脱臼骨折(全治2ヵ月半)する重大事故が起こり、その反省から、必ず全体を見渡せる位置に保育者が立ち監視に徹することにしました。それでも、見ていない場面でけがが起こることがあるため、各部屋及び廊下・園庭に見守りカメラを28台設置しました。これにより、けがが起こった時の様子をコマ送りで確認することができ、再発防止のための環境改善をするのに役立ちました。また、けがだけでなくトラブルがあった時にも、確認をすることができ、直後の適切な指導に役立ちました。

けれども、本園の園庭は、わくわくひろば・どろんこひろば・おひさまひろば・あおぞらひろばと4か所に分かれているため、最低でも監視員が4人は必要となり、昼食後にノンコンタクトタイムと休憩時間をとるのが難しい状況にあります。今年度から導入した完全週休2日制は、職員のリフレッシュに有効でしたが、それにより有休消化が難しくなったことも課題として残りました。やはり体力的な負担を軽減することが、喫緊の課題となっています。

近隣住民からの要望で、低周波を防止するために調理室の冷蔵庫の交換・調理室の防音対策・エアコン室外機の移設・防音壁工事を行いました。令和3年度には、園舎と住宅の境界に防音壁を作成する予定です。

## 2 施設運営方針の実施状況

- (1) 園庭環境を工夫し、子どもの主体的な活動を保障する ⇒○
- (2) 保護者支援の力量を高め、児童虐待の予防・啓発に努める ⇒○
- (3) 保育教諭・栄養教諭・看護師の専門性を高め、仕事に自信と誇りを持てるように、キャリアアップ研修参加や専門学会への加入をバックアップし、園内研修を充実させる ⇒◎
- (4) 国のガイドラインに沿った事故防止・健康安全対策及び災害対策を強化し、子どもの命を守るためにより安心安全な環境作りに全職員で取り組む ⇒○

- (5) 他機関や小学校との連携をさらに深め、子どもの発達を多方面から支援する  
⇒○
- (6) 栄養教諭・管理栄養士を中心に、子どもの育ちにおける課題を明確にして  
食育計画を進め、食育のさらなる充実を図る  
⇒○

### 3 年間教育・保育日数

1号認定 241日（年長児は237日）  
2・3号認定 289日（年長児は290日）

### 4 利用者

(1) ひいらぎこども園（本園）在園児数

歳		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳	標準	18	19	18	21	22	22	22	23	22	22	22	22
	短時間	2	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2
1歳	標準	39	39	38	37	37	38	37	36	35	35	35	34
	短時間	1	1	2	3	3	2	3	4	5	5	5	6
2歳	標準	40	39	39	41	41	40	38	38	38	38	38	38
	短時間	2	3	3	0	0	1	0	0	0	0	0	1
満3	1号	0	0	0	1	1	1	3	4	4	4	4	4
3歳	1号	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4
	標準	42	40	40	41	42	42	41	41	40	40	39	38
	短時間	1	3	3	3	1	1	2	2	3	3	4	5
4歳	1号	3	3	3	3	5	5	5	5	5	5	5	5
	標準	44	43	43	43	43	42	41	41	40	40	40	40
	短時間	1	2	2	2	0	1	2	2	3	3	3	3
5歳	1号	1	2	2	2	3	3	3	2	2	2	2	2
	標準	44	44	44	44	43	42	42	43	43	43	42	42
	短時間	3	2	2	2	2	3	3	3	3	3	4	4
合計		245	245	244	247	248	248	247	249	249	249	249	250
総合計		2,970人											

(2) 一時預かり事業利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数 (人)	31	0	17	13	49	9	9	0	0	0	6	0
保育日数 (日)	20	17	22	21	18	20	22	23	24	22	22	25
1日平均 (人)	1.6	0	0.8	0.6	2.7	0.5	0.4	0	0	0	0.3	0
合計	134人(1日平均 0.52人)											

(3) 子育てサポート事業利用者数

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
体験保育		0				0	0	0	0		
親子リトミック		0			0		0		0		0
親子運動あそび						0					
一時預かり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	29
園庭開放	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	29
総計	35人										

- ①体験保育 中止
- ②親子リトミック 7月・9月・11月1月は中止・3月は申込者なし
- ③親子運動あそび 中止
- ④一時預かり 令和3年2月・3月に実施 延べ人数35人
- ⑤園庭開放 中止

5 職種別職員数(令和3年3月31日現在) ひいらぎこども園

職 種	園長	副園長	主幹保育教諭	指導保育教諭	保育教諭	S W	保育補助	看護師	栄養士	調理員	警備員	事務員	アルバイト	ボランティア	合計
正規職員	1	1	1	1	33			1	2	1		1			42
パート職員					10	1	2	1	1	2	1	1	2	1	22
合 計	1	1	1	1	43	1	2	2	3	3	1	2	2	1	64

(正規保育教諭の内3名とパート栄養士1名は育児休暇中)

## 6 小学校との接続

毎年、少しずつ取組を積み重ね、神明小学校との連携が深まっていった時ではあったが、コロナ禍の情勢により、「入学式参列」「1年生の参観・連絡会」は中止となった。

<行事交流>

### ○運動会参観

小学校の運動会は学年ごとのスポーツ大会と形式、内容が変更された。いつもは、旧年長担任等数名が参観していたが、今年度は参観できなかった。

### ○作品展招待

こども園での作品展の形式が大きく変わり、作品を一同に集めた展覧会ではなく、日常での製作活動とともに出来上がった作品や作品を通して活動する様子を動画配信することにした。年長2クラスの動画及び作品集を小学校に送付することでこども園での子どもたちの様子を小学校に発信した。作品集の表紙には、子どもたちが思いを込めたメッセージや絵を描いた。



### ○スプリングフェスティバル

作品展と同じく、ホールに一同に集めた発表会は取りやめて、各クラスで取り組んだ劇遊びを動画配信した。そのため、年長児の劇遊びのDVDを神明小学校に送付した。

### ○小学校訪問

例年は秋のイチョウの黄色い葉っぱがたくさん落ちている頃に、小学校訪問をして、1年生児童と楽しく活動していたが、本年度は中止となった。

## ○神明小学校の先生による出前授業

2月4日（木）午前10時30分から、神明小学校の先生による出前授業を今年度も予定し、年長児は楽しみにしていたが、1月13日から「緊急事態宣言」が発令されたため、やむなく中止となった。

## <入学児童についての配慮事項などの情報交換>

例年は、神明小学校の先生が来園し、園児一人一人について、丁寧に情報交換をしていたが、「緊急事態宣言」が発令し、コロナ禍の情勢も深刻であったため、大久保小学校と神明小学校のみ園訪問されたが、他の6校については電話での情報交換となった。

## ○就学支援シートの活用

配慮の必要な園児は年々増加してきている。加配対象の園児については、個別の指導計画を作成し、保護者と年間2回の懇談を重ねている。年長児は、後期の懇談と合わせて、園独自で作成した『就学支援シート』を保護者とともに作成した。日頃の園児の様子や困りを具体的に記し、それにかかわる具体的な支援について書き記し、小学校に伝えた。『就学支援シート』によって小学校と園児の情報を共有できたことは、就学に対する保護者の安心につながった。

## <その他>

- ・神明小学校と園だより及び学校だよりの交流（月1回）
- ・神明小学校校長が令和2年度入園式に出席、祝辞をいただく予定だったが新型コロナウイルスによる感染拡大のため、来賓の出席はなくなった。
- ・卒園式についても、例年は小学校校長先生に祝辞をお願いしていたが、本年度も来賓の出席はなくなった。

## 7 職員研修

### （1）園内研修

- ① 講演 令和2年4月3日（金）  
「新入園乳児の面接の仕方」  
講師 伴 亜紀氏（Graine 代表）  
受講者 管理栄養士2名  
「乳幼児の食事について  
～新保育所保育指針を踏まえた  
哺乳から幼児食まで～」  
講師 伴 亜紀氏（Graine 代表）  
受講者 新規採用者10名



- ② 講演・演習 令和2年6月20日・7月3日・  
10日 13:30～15:00  
「心を育むコミュニケーション研修」  
講師 興梶悦子氏  
(株式会社 JAPAN・SIQ 協会)  
受講者 保育教諭・保育補助者・  
栄養士・調理師  
計39名



- ③ 調理研修 令和2年8月1日(土)  
「離乳食の調理手順・普通食の献立」  
講師 佐井かよ子氏(食育サロン「旬」)  
受講者 管理栄養士2名・栄養士1名

- ④ 運動あそび研修 令和2年10月6日(火)  
講師 杉島秀政氏  
(安田式体育遊び研究所指導員)  
受講者 1歳以上全年齢の子どもたち  
への指導を参観



- ⑤ 研究保育(オンライン・法人合同) 令和2年10月23日(金)  
「子ども主体の保育の環境と指導者の関わり」  
公開クラス(ビデオ) 赤組  
指導者 高木真帆・島津薫  
指導助言 木下光二氏  
(鳴門教育大学大学院教育研究科教授)  
受講者 ひいらぎ10名 榎島5名



## (2) 派遣研修

今年度キャリアアップ研修修了者数 合計16名

## 8 安全衛生委員会

(1) 委員会 月1回委員会開催・面談希望者はなし

(2) ストレスチェックを実施

- ① 実施日 令和2年8月17日(月)～24日(月)  
② 委託業社 NPO法人メンタルサポート京都  
③ 受診者 59名(受診率88.1%)

#### ④ 結果

コロナ禍で例年とは違うストレスを抱える年になった。「正規保育士分野別リーダー」「調理員」「パート保育士」で、昨年度より「仕事量—コントロール」のストレスが多くなったが「総合健康リスク」が4ポイント低く抑えられているのは、適切なマネジメントや職場の支援度が高いことによるものと思われる。多くの職員が「働きがい」や「仕事や生活の満足度」を感じながら仕事をしている点は、嬉しいことである。

ただ、「正規保育士分野別リーダー」については、「自覚的な身体的負担度」「心理的な仕事の負担（質・量）」にストレスを感じている職員が多く「総合健康リスク」が昨年比べて17ポイント高くなっている。休みがしっかりとれているか、仕事の分担に偏りが無いかなどを調べ、ストレスの緩和に努めていくことが重要だと考えている。

また、昨年度から「パート保育士」の「総合健康リスク」が全国平均より少し高い状況が続いている。正規職員に比べて「仕事のコントロール度」にストレスを感じる職員が多く、「働きがい」を感じる職員が少なくなっている。

職場改善をして良くなった点、悪くなった点を確認し、より良い職場作りのために、今後も継続的な取組が必要である。

#### ⑤ メンタルサポート京都からの職場改善についての提案

- ・「自覚的な身体的負担」「心理的な仕事の負担（量）」にストレスを感じる方が多く見られる。緊張が長く続くと身体的にも心にも不調があらわれる。特にコロナ対策で時間をとられるので、休憩時間の確保や休暇の取得などでリフレッシュし、疲労の軽減につとめることが大切。
- ・全員カウンセリング（新規採用者、部署異動者、役職者など）の継続的な実施など、気軽に相談できる条件づくりに引き続き取り組むことを勧める。
- ・コロナ禍の中、職員間の交流に苦労があると思うので、オンラインなどを活用して職員間のつながりを強め、職員の意見をすい上げる工夫が必要。

#### ⑥改善計画

- コロナ対策として、緊急事態宣言発令中は玄関送迎をするため、どうしても残業が増えてしまう。保護者対応は保育者でないと難しいため、その他の消毒作業を少しでも軽減できるように、環境整備要員を雇用し清掃・消毒・食事場所の準備にあてる。
- 職員会議をZOOMで行い、全員の顔を見ながら話し合いができるようにする。時間的余裕があれば、パート職員も家から参加可能とする。
- 支援を必要とする子どもの加配であるパート職員が、子どもの記録を書く時間を勤務時間内に確保する。
- ストレスチェックの後、看護師による面談を実施する。
- 管理職によるパート保育教諭との面談を実施し、働きがいや願いを聞き、改善につなげる。
- パート職員と正規職員の意見交流会を計画する。

## 9 保健室利用実績・感染症による欠席状況

### (1) 病気早退延べ人数 (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
乳児	4	3	8	17	15	2	8	3	3	6	9	8	86
幼児	2	7	2	6	3	0	2	3	4	2	4	1	36
合計	6	10	10	23	18	2	10	6	7	8	13	9	122

### (2) 感染症による欠席状況 (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
インフルエンザ													0
手足口病					1	1		1				1	4
溶連菌											1		1
アデノウイルス							1	1	1		1		4
細菌性腸炎								1					1
マイコプラズマ													0
RSウイルス													0
ヘルパンギーナ				2	1								3
突発性発疹	3	2	2	1			1						9
水痘							1	5	3				9
流行性耳下腺炎													0
リンゴ病					1								1
麻疹													0
クループ症候群													0
流行性嘔吐下痢症							1						1
合計	3	2	2	3	3	2	3	8	4	0	2	1	33

感染症 令和元年度 245件 → 令和3年度 33件 (87%減)

### (3) 大きなけが (骨折)

- ① 4月28日(火) 15:30 5歳女児 (あおぞらひろば)  
モンテジア脱臼骨折 (全治2ヵ月半)

## 10 課外教室参加者数

- (1) ピアノ・リトミック教室【1クラス30分・4クラス】(講師 伊藤嘉代氏)
  - 月曜日 5歳児 6名 ・ 4歳児 2名 ・ 計8名
  - 金曜日 5歳児 6名 ・ 4歳児 2名 ・ 計8名
- (2) ECC【1クラス40分・3クラス】(講師 上田靖子氏)
  - 火曜日 5歳児 15名 ・ 4歳児 7名 ・ 計22名
- (3) かきかた教室【1クラス 40分】(講師 川田道子氏)
  - 水曜日 5歳児 5名 ・ 4歳児 2名 ・ 計7名
- (4) ジョニーのサッカー教室【1クラス 60分】(講師 松下洋亮氏)
  - 木曜日 5歳児 10名 ・ 4歳児 16名 ・ 計26名
- (5) 剛柔流空手教室【1クラス 60分】(講師 加藤吉辰氏・加藤映彦氏)
  - 土曜日 5歳児 2名 ・ 4歳児 2名 ・ 計4名

\*ただし 緊急事態宣言発令中は全課外教室を休止

## 11 実習生・インターンシップ・体験学習・子育て支援員研修の受け入れ

- (1) 職場・福祉体験学習 中止
- (2) 高校生インターンシップ 中止
- (3) 保育実習
  - 8月17日～28日(10日間) 西山短期大学 男子1名
  - 8月17日～28日・9月7日～9月19日(20日間) 文教短期大学 女子3名
  - 8月24日～9月3日(10日間) 神戸常盤大学 女子1名
  - 8月31日～9月12日(12日間) 大谷大学 女子2名
  - 9月7日～26日(16日間) 光華女子大学 女子1名
  - 12月7日～12日(11日間) 池坊短期大学 女子1名
- (4) 子育て支援員研修
  - 園見学と実習が中止となり、岩岡副園長と石井主幹保育教諭が講座の講師を担当し、こども園の子育て支援について紹介した。

## 12 ほっこりくらぶとの交流

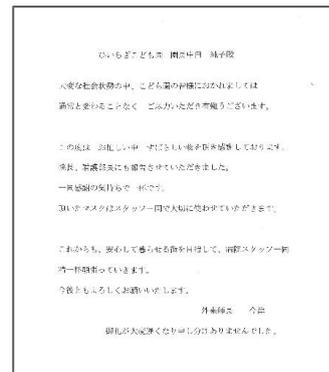
交流事業が中止となったため、1月にビデオメッセージのDVDを作って、送った。

## 13 社会貢献

- (1) 地域への駐車場貸出(夏休み・冬休み・土曜・日曜)
- (2) 地域・近隣医療機関へ手作りマスクを寄付
  - 在宅勤務職員による手作りマスクを地域の高齢者や徳洲会病院の看護師さんに送った。



配布した手作りマスク



徳洲会病院からのお礼の手紙

## 14 感染防止のための行事の見直し

- 誕生日会
  - ・年齢ごとに実施・合唱は中止・職員の出し物は動画サイトにアップ・年長児の保護者参観は中止にしてDVDをプレゼント
- 年長キャンプ
  - ・6月の予定を9月に変更
- 琵琶湖水遊び
  - ・中止
- プール遊び
  - ・水遊び・どろんこ遊びに変更
- 運動会
  - ・3歳以上児のみ、年齢ごとの完全入れ替え制・各家庭1名参加で実施
  - ・0・1・2歳児は運動遊びを動画配信
- 作品展
  - ・各クラスで展示・取組冊子を配布・取組と展示を動画配信
- 発表会
  - ・動画配信
- 遠足
  - ・2歳児親子遠足は中止
  - ・3歳・4歳・5歳 園バスで動物園へ（3日間に分けて実施）
  - ・水族館へのお別れ遠足は実施
  - ・緊急事態宣言発令中は中止・それ以外の期間は、園バス乗車の際、マスク着用・アルコール消毒を徹底して実施
- 卒園式
  - ・心華寺釈迦堂にて、各家庭2名参加で実施・来賓はなし

## 15 第三者評価受診結果

受診日 令和2年7月20日  
 評価機関 一般社団法人京都府保育協会

## 16 苦情受付の状況

(1) 令和2年4月30日（木）

【内容】 28日に発生した園児のけがについて、保護者より、職員の対応について詳しく教えてほしいという申し出があり、説明をしたが、園の対応が不十分であずけることが不安であるということが主訴であった。

特に不安を感じた点は下記の3点であった。

- ① けがをした現場を見ておらず、1分間も放置した。
- ② 近くにいたと言っても、見ていなかった。
- ③ 診察した医師に、「鉄棒から落ちただけではこのような骨折にはならない」

と言われた。けがをした状況が間違っているのではないか。

苦情解決第三者委員（アイギス）にも相談された。

【対応】 子どもの話をもとに保護者にけがの状況を説明したが、ビデオで確認すると鉄棒の上から飛び降りていることが分かった。しっかりと確認せずに伝えたことと、けがをした時にすぐに気付くことができなかったこと、手術をしなければならぬ状況になってしまったことを詫び、再発防止のための対策をすぐに行ったことと、性能のよい見守りカメラを設置したことを伝えた。また、園長が通院を手伝い、誠意をもって丁寧に対応したことによって、理解を得ることができた。

(2) 令和2年8月4日（火）

【内容】 18時頃、電話が入り、「先ほど園から出てきた車が一旦停止もせず飛び出してきた上、思い切りクラクションを鳴らされた。どうなっているのか？」という内容であった。

【対応】 丁寧に謝罪し、けががなかったかを確認。園から保護者に気を付けてもらうように伝えてはいるが、再度伝えることを話す。メールで、保護者全員に呼びかけ、危険な運転が目立つ保護者には個別に声をかけた。

(3) 令和2年8月20日（木）

【内容】 北館の隣の住宅より、電話での相談があり、「夜間機械音が響く。8月になってから急に大きくなった。高圧の電気設備の音だと思う。夜、寝ていても低音が響くので、音を遮断する壁を作ってほしい。」という申し出であった。

【対応】 業者に相談し、キュービクルの点検をしてもらったところ、換気扇が故障していたことが分かったため、修理をした。

そこで、音を聞いてもらったら、「キュービクルからは音はしなくなったが、夜の低周波は続いている」ということだったので、低周波測定器で計測し、宇治市にも相談したが、原因がわからなかった。調理室内も見てもらい、古い冷蔵庫が壁にぴったりくっついていることが原因だと思われるということだったので、冷蔵庫を一回り小さいものに替え、壁には振動を吸収するゴムを貼った。

さらに、エアコンの移設と境界線の防音壁を希望されたため、2年間計画で実施することとした。

## 17 施設整備

(1) 見守りカメラ設置（ホール・ランチルーム・玄関・園庭・計16台）

施行日 令和2年5月24日

施行业者 アイディーネット株式会社

事業費 1,831,200円（リース払い月々21,800円×84回）（税込み）



(2) プレイルーム窓柵設置工事 (換気のために窓を安全に全開できるようにするため)

施行日 令和2年7月11日

施工業者 下岡建設

事業費 143,000円

BEFFOR

AFTER



(3) 新園庭と旧園庭をつなぐスロープ設置・フェンス工事

施工日 令和2年8月1日～20日

施工業者 (株) マルミチ設計コンサルタント

事業費 1,928,212円



← 工事中

完成 →



(4) サーマルカメラ2台

施工日 令和2年7月20日  
施工業者 (株) エムズ・システムサービス  
事業費 900,000円  
(内500,000円は宇治市補助金)



(5) 冷凍冷蔵庫搬入 (インバータ制御) 旧製品撤去・処分

施工日 令和2年10月2日  
施工業者 (株) 中西製作所  
事業費 400,000円



壁との隙間が広くなりました

(6) エアコン室外機移設・防音壁設置工事

施工日 令和2年11月20日  
施工業者 (株) 下岡建設  
事業費 748,000円 (移設)  
429,000円 (防音壁)



### (7) わくわくひろば植樹工事

施工日 令和2年11月1日～12月21日

施工業者 西川農園

事業費 448,800円（内300,000円は「やってみ！チャレンジ」補助金）



植樹した木

枝垂れ桜・シマトネリコ2本・アメリカフウ・常緑ヤマボウシ・ブラシノキ  
ネムノキ・オリーブ・栗・イチョウ・柿・カロライナジャスミン

### (8) パーゴラ設置

施工日 令和3年12月16日

施工業者 (有)上尾製材所

\*一般社団法人京都府木材組合連合会の  
モニターになりアイデア提供



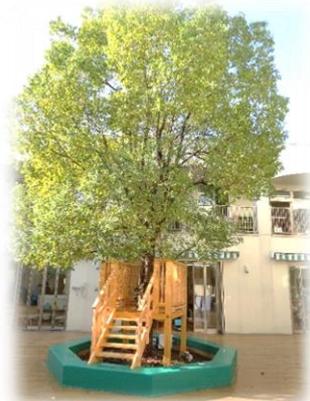
### (9) ツリーハウス設置

施工日 令和3年1月26日

施工業者 (有)上尾製材所

設置費用 60,000円

\*一般社団法人京都府木材組合連合会の  
モニターになりアイデア提供



木登りができるようになりました